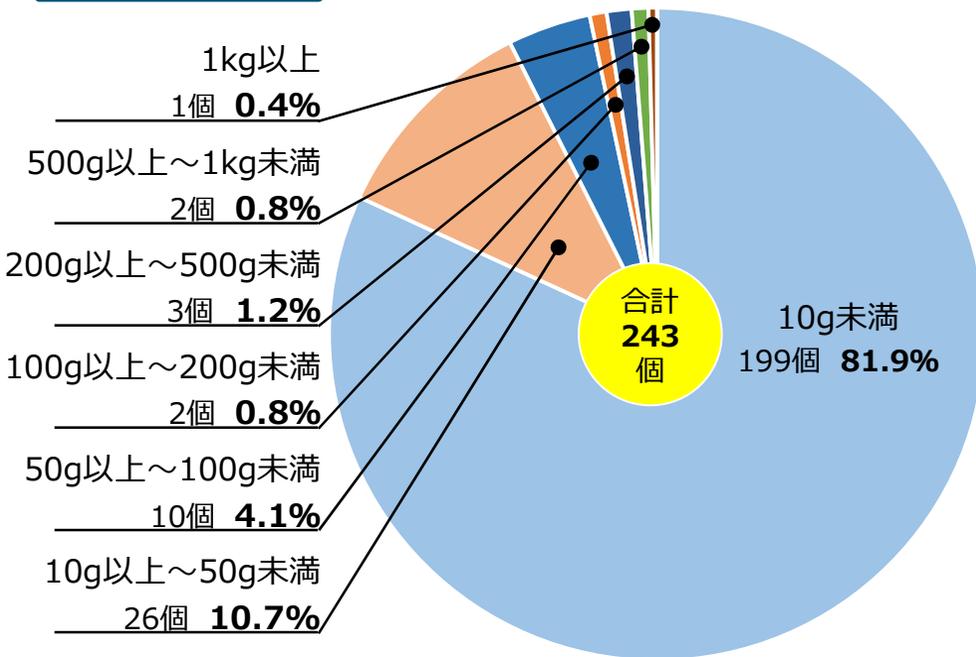


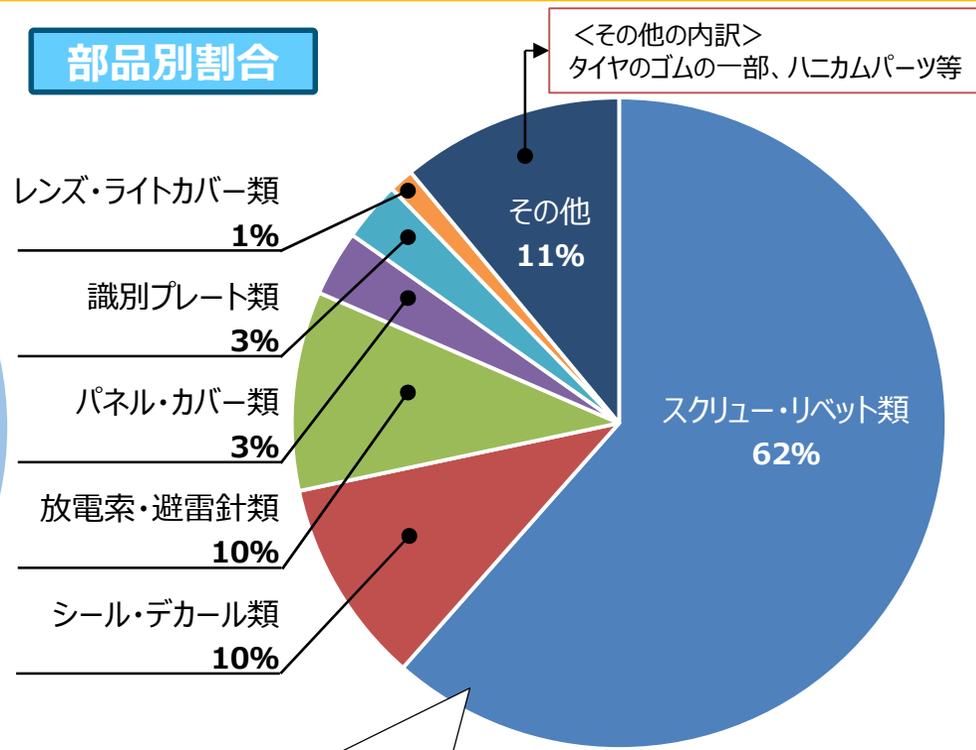
2025年10月～11月における部品欠落の重量別・部品別割合

- 部品欠落の報告制度により、羽田空港を含む7空港において2025年10月～11月に報告された欠落部品の総計は243個であり、そのほとんどは100g未満で、約8割が10g未満である。(前年度同期間は198個)
- また、欠落部品の多数を占める10g未満の部品についても、各航空会社において、落下物防止対策基準に従って、欠落事例を分析し必要な再発防止策が進められている。

重量別割合



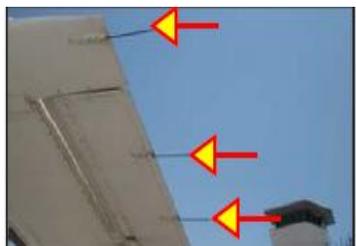
部品別割合



部品欠落の例



リベット(1.3～2cm)



スタティックディスチャージャー(放電索)

- 部品欠落報告の約6割はスクリュー、リベット等の留め具であり、重さは1g～90g程度
- シール、デカル類の材質はアルミニウム、プラスチック等であり、重さは1g～80g程度
- パネル類の材質は複合材等、カバー類はプラスチック等であり、重さは2g～200g程度
- 放電索、避雷針類の材質は複合材等であり、重さは5g～500g程度
- 識別プレート類の材質はアルミニウム等であり、重さは2g～70g程度
- レンズ、ライトカバー類の材質はプラスチックであり、重さは20g～300g程度